

2018年4月5日
三菱電機株式会社

経済産業省主催「自動車産業におけるモデル利用のあり方に関する研究会」での当社活動について

自動車産業においては、自動走行の実現や世界的な環境規制への迅速な対応に向けて、高機能化・複雑化が進む自動車開発の上流工程(設計段階)での徹底的な効率化が不可欠であり、特に、開発・性能評価のプロセスを、実機を用いずにバーチャルシミュレーション(モデルベース開発)で行う重要性が拡大しています。

経済産業省が主催する「自動車産業におけるモデル利用のあり方に関する研究会」では、自動車メーカーや部品メーカーが参画し、サプライチェーン一体となったモデルベース開発の実現について検討を行っており、当社は、本研究会に発足当初から参画し、自動車メーカーや部品メーカーとともに自動車の先行開発・性能評価をモデルベースで行うための検討を重ねてきました。今後もこれまで検討してきた車両性能モデルの更なる深化に加えて、自動運転等の新しい技術領域においても検討を行うことにより本研究会に貢献してまいります。

【経済産業省ニュースリリース】

<http://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180404003/20180404003.html>

以上